

「ひろしまサンドボックス」実証プロジェクト（行政提案型）の公募について

令和2年11月19日
イノベーション推進チーム
道路整備課

1 要旨

社会資本の老朽化の進行や維持管理・更新費の増加が懸念される中、AI、IoT等のデジタル技術を活用した、効率的・効果的な維持管理が求められているところである。

こうした中、最新のデジタルテクノロジーを活用して様々な課題解決を図るオープンな実証実験の場「ひろしまサンドボックス」のうち、昨年度より「行政提案型の実証プロジェクト」を実施している。

このたび、道路附属物（道路照明）の自己点検システムの構築について、実証プロジェクト（行政提案型）による公募型プロポーザルを実施することとしたので報告する。

2 公募の概要

(1) 提示公募テーマ

テーマ	概要
道路附属物（道路照明） 自己点検システム	道路照明の支柱や灯具等について、センサー技術等を活用して異常を検知するなど、効率的かつ安価な点検が可能となる点検技術の構築

※委託件数は2件を予定。1件あたりの委託額は5,000千円を上限。

(2) 公募対象者

県が提示するテーマに対し、AI、IoT等のデジタル技術を活用した技術の構築を提案する者。

(3) 審査方法

総務局、商工労働局、土木建築局の委員からなる選定委員会において、第1次審査（書類審査）、第2次審査（プレゼンテーション及びヒアリング）を実施する。

3 スケジュール

令和2年11月下旬	公募開始（県のホームページ等で公告）
令和2年12月下旬	企画提案締め切り 審査・採択候補先の選定
令和3年2月中旬	選定結果の通知・公表
契約日～令和3年12月末	実証プロジェクトの実施

4 その他

ひろしまサンドボックス推進協議会会員を含む県内の企業や大学、首都圏のスタートアップ企業等についても、オンラインイベントの実施により、公募プロポーザルの実施について広く情報発信する。